

2年連続「スポーツエールカンパニー」に認定

スポーツを日常に取り入れ、健康経営を推進

当社は、社員の健康増進に向けたスポーツ活動の促進に積極的に取り組む企業として、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」に2年連続で認定されました。

【当社の取り組み】

当社は「社員が健康でいきいきと働く職場があってこそ、企業理念に掲げる自発的に取り組む人材が育成できる」と考え、健康経営を推進しています。これにより社員のモチベーションを向上させて、社会課題を解決するイノベーションの創出へとつなげ、持続可能な社会の実現に貢献します。

この度の認定では、社員が常時利用できる本社内施設「健康デザインセンター」を活用した施策をはじめ、心と身体の健康を意識するための機会を提供する3つの取り組みが高く評価されました。

1. 「健康デザインセンター」におけるスポーツ・運動機会の提供

卓球台・うんてい・エアロバイク・バランスボールを常設しています。体を動かすことで、記憶力や協調性、集中力が高まるといった影響が明らかになっており、社員に積極的な利用を促すことでパフォーマンスの向上を目指します。

2. ストレッチ（ヨガ）体操アドバイスシステムの導入

モニターに表示されるインストラクターの動きを見ながら、カメラの前でストレッチ（ヨガ）のポーズを取ると、正しい姿勢をアドバイスするシステムを常設しています。就業中のリフレッシュや、同僚と一緒に利用することでコミュニケーションを活性化させる効果も期待できます。

3. ウォーキングラリーの開催

スマートフォンのアプリや歩数計を活用し、歩数に応じてポイントを付与します。貯めたポイントで、宿泊施設やテーマパークの利用料補助券、映画観賞券、ギフト券を購入できる制度です。社員本人だけでなく、家族や友人と参加できる企画も用意し、社外にも枠を広げた健康促進プログラムとしています。

コロナ禍でリモートワークの機会が増える中、対話の重要性を再認識する社員も多く、スポーツを通じたコミュニケーションやストレスの解消は社員の心身の健康に寄与しています。また、社員が就業中、気軽にスポーツに触れることは、いきいきと働くことができる職場づくりにもつながっています。当社は今後も新型コロナウイルスの感染対策を徹底したうえで、健康経営を推進し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

お問い合わせ先

報道関係：広報 IR 室

www.fujitsu-general.com/jp/contact/news.html

【スポーツエールカンパニーとは】

社員の健康増進のためのスポーツ活動の促進に積極的に取り組む企業を、文部科学省スポーツ庁が「スポーツエールカンパニー」（英語名称：Sports Yell Company）として認定する制度です。認定企業の取り組みを広く周知することで他企業への横展開を促し、ビジネスパーソンのスポーツ実施率の向上を目指すとともに、従業員の健康管理を考え戦略的に取り組んでいる企業の社会的評価の向上を図ることを目的として、2017年度より認定を開始しています。なお、2021年の認定企業623社は、1月29日（金）にスポーツ庁ウェブサイトにて発表されました。

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/houdou/jsa_00064.html

【ご参考】

- 富士通ゼネラルグループ 健康白書

<https://www.fujitsu-general.com/jp/health-productivity/index.html>

- 富士通ゼネラルグループ 企業理念

<https://www.fujitsu-general.com/jp/corporate/profile/fg-way.html>